

1. 地震活動

①西日本の被害地震

有史以後、近畿・中国・四国・九州・沖縄地域に被害をもたらした地震・津波を表 I-1-1-1-1～2 に示す。ごく軽微な被害（ガラス窓の破損、器物の落下転倒による破損、落石など）の地震は含まない。なお、主な被害が中部地方以東で生じた地震（1891年濃尾地震、1993年北海道南西沖地震など）、津波被害をもたらした遠地地震（1960年チリ地震など）は含まない。

表 I-1-1-1-1（第1部、1884年以前）と表 I-1-1-1-2（第2部、1885年以後）では、表の形式がやや違う。第1部の期間では被害があっても記録が残っていない（あるいは史料が未発見の）地震が少なくないし、推定した震央・マグニチュードの精度も概して低いので、地震活動の考察に使う場合は注意を要する。震央の分布を図 I-1-1-1-1（第1部、震央位置が推定されているもののみ）と図 I-1-1-1-2 に示す。

[宇津徳治]

凡 例

年月日時分：すべてグレゴリオ暦、日時は日本時間である。日本暦中の U は閏月を示す。

死 傷：日本全域における死者・負傷者数で、外国における死傷者数は含まない。100s, 1000s 等は数百人、数千人等を意味する。some は死（傷）者はあったが数についての情報がいない場合。－は不明（記録がない）でゼロとは限らない。死者数には行方不明者を含む。

東経 北緯（深さ）M：第1部では震央の推定経緯度と推定マグニチュードを示す。宇佐美龍夫：新編日本被害地震総覧（1987）によるが、修正または新たに推定したものが5個ある。同書に範囲として示されているものは、範囲の中央値を採用し、また分数は小数に直し小数点以下1桁で打ち切った。第2部では1925年までは宇津（1982, 1985）による。1926-1980年についてはほとんどが気象庁地震月報別冊6（1982）、1981年以降については気象庁地震月報を採用しているが、浜田（1990）による再決定値等を参照して修正したものもある。また、日本の観測網から離れた深い地震、南西諸島、台湾方面の地震は、ISS、ISC などグローバルな観測資料による値を用いた。深さ欄の s は100km 未満、vs は0～30km を表す（s は vs の範囲を含む）。

D（被害）：日本全域における被害の程度を示す。

1：壁や地面に亀裂などが生じる程度の微小被害。

2：家屋・道路の損壊などが生じる程度の小被害。

3：複数の死者あるいは複数の全壊家屋が生じる程度（いわゆるショック死は震源地欄に記載）。

4：死者20人以上または全壊家屋1千以上。

5：死者200人以上または全壊家屋1万以上。

6：死者2千人以上または全壊家屋10万以上。

7：死者2万人以上または全壊家屋100万以上。

X：被害があったとみられるが程度がわからない場合。

↑または↓：直前または直後の地震による被害と区別できない場合。

T（津波）：Tは津波による被害記録のあるもの。1900年以降については検潮器に記録されたが被害はなかった津波もtで示してある。

被災地域（第1部）：おもな被災地域を示す。震源地とは必ずしも一致しない。この欄の先頭に？マークのある地震は、他の地震の誤記、あるいは史料の信憑性が低く存在の疑わしいもののほか、地震はあったらしいが場所・被害等が著しく不確実なものを示す。東京大学地震研究所編「新収日本地震史料」（1980～1993）に＊印（不確実の印）の付いている地震には、原則として？を付けてある。

震源地（第2部）：震央の地名であり、被災地域とは必ずしも一致しない。（別）は‘別の資料によれば’の意味。この欄の右端にある7.5Sなどの数字はM欄とは違う種類のマグニチュードを示し、Sは表面波マグニチュード M_s 、Bは実体波マグニチュード m_b 、Wはモーメント・マグニチュード M_w 、Tは津波マグニチュード M_t を表す（主としてAbe(1981, 1994), Abe and Noguchi(1983), 阿部(1988)による）。1977年以降の M_w はHarvardグループによるCMT解から換算した値。

表 I - 1 - 1 - 1 西日本の被害地震 (第 1 部, 1884 年まで)

年 月 日 時	東経	北緯	M	死	傷	D T	被 災 地 域 [地震名]	日本暦
416 8 23 -	-	-	-	-	-	X	? 大和・河内	允恭天皇5-7-14
599 5 28 -	135.8	34.7	7.0	-	-	3-4	大和	推古天皇7-4-27
605 - - -	-	-	-	-	-	X	? 伊予	推古天皇13
628 4 13 -	-	-	-	-	-	X	? 伊予	推古天皇36-3-2
679 - - -	130.7	33.3	7.0	-	-	3-5	筑紫・豊後	天武天皇(白鳳)7-12
684 11 29 22	134.3	32.8	8.3	many	many	4-5T	南海・東海・西海諸道	天武天皇(白鳳)13-10-14
701 5 12 -	135.4	35.7	7.0	-	-	X	丹波(M=6.5, 萩原)	大宝1-3-26
729 - - -	-	-	-	-	-	3	河内	天平1
734 5 18 -	136.1	34.3	7.0	many	-	4-5	畿内七道諸国?	天平6-4-7
744 6 30 -	-	-	-	40	-	4-5	? 肥後(雷雨地震洪水)	天平16-5-12
827 8 11 -	135.8	35.0	6.8	-	-	3-5	京都	天長4-7-12
851 - - -	-	-	-	-	-	3	? 伊予	仁寿1-10
855 6 26 -	-	-	-	-	-	3-4	? 若狭・奈良	斉衡2-5-5
856 4 - -	-	-	6.3	-	-	3-4	京都	斉衡3-3
856 4 20 -	-	-	-	-	-	2	? 大和(上と同じか)	斉衡3-3-8
868 8 3 -	134.8	34.8	7.0	-	-	3-5	播磨諸郡・京都(M≥7.0)	貞観10-7-8
870 1 23 -	-	-	-	many	-	3-4	? 肥後(地震風水)	貞観11-12-14
880 11 23 -	133.2	35.4	7.0	-	some	3-4	出雲(M=6.3-6.5, 萩原)	元慶4-10-14
881 1 13 -	135.3	35.0	6.4	-	-	3-4	京都	元慶4-12-6
887 8 26 16	135.0	33.0	8.3	many	-	4-5T	五畿七道諸国(主に太平洋側)	仁和3-7-30
890 7 10 8	-	-	6.0	-	-	2-3	京都	寛平2-6-16
922 - - -	136.7	33.8	7.0	-	-	X T	? 熊野	延喜22
934 7 16 12	-	-	6.0	-	-	2	京都	承平4-5-27
938 - - -	-	-	-	-	-	3	島根(菅野)	天慶1
938 5 22 -	135.8	35.0	7.0	some	-	3-4	京都・紀伊	天慶1-4-15
976 7 22 16	135.8	34.9	6.7	50	-	4-5	山城・近江(M≥6.7) (別)死多数	貞元1-6-18
985 - - -	-	-	-	-	-	3	河内	寛和1
1026 6 16 -	-	-	-	-	-	3-5T	石見(地震の記事なし・津波のみ)	万寿3-5-23
1028 5 13 -	-	-	-	-	-	3	筑前	万寿5-4-10
1038 1 30 -	135.6	34.3	-	-	-	3	? 高野山	長暦1-12-17
1041 8 25 2	-	-	-	-	-	2-3	京都	長久2-7-20
1070 12 1 -	135.8	34.8	6.3	-	-	2-3	奈良・京都	延久2-10-20
1091 9 28 -	135.8	34.7	6.4	-	-	2-3	山城・大和	寛治5-8-7
1093 3 19 14	-	-	6.2	-	-	2	京都	寛治7-2-14
1096 12 17 8	137.5	34.0	8.3	-	-	3-5T	畿内・東海道	永長1-11-24
1099 2 22 6	135.5	33.0	8.2	-	-	3-5T	南海道・畿内	康和1-1-24
1099 9 20 -	-	-	-	-	-	3	河内	康和1-8-27
1177 11 26 2	135.8	34.7	6.3	-	-	2	大和	治承1-10-27
1185 8 13 -	135.8	35.0	7.4	many	-	4-5	山城(京都)・近江・大和	文治1-7-9
1185 9 14 -	-	-	-	-	-	2-3	京都	文治1-8-12
1233 3 24 -	-	-	-	many	-	X	? 諸国(紀伊)大地震大風大雨	天福1-2-5
1245 8 27 2	-	-	-	-	-	2	京都	寛元3-7-27
1299 6 4 -	-	-	-	10000	-	6?	? 畿内(存在しない?)	正安1-4-25
1317 2 22 -	-	-	-	-	-	2	京都	文保1-1-3
1317 2 24 4	135.8	35.0	6.8	5	-	3-4	京都(群発地震か)	文保1-1-5
1325 12 5 22	136.1	35.6	6.5	-	-	3	近江北部・若狭	正中2-10-21
1331 8 15 -	135.2	33.7	7.0	-	-	X	紀伊千里浜(遠干湯隆起)M≥7.0	元弘1-7-3

表 I-1-1-1 つづき

年 月 日 時	東経	北緯	M	死	傷	D	I	被災地域 [地震名]	日本暦
1350 7 6 16	135.8	35.0	6.0	5	-	3		京都	正平5-5-23
1360 11 21 -	-	-	-	-	-	X	I	紀伊・摂津	正平15-10-4
1360 11 22 -	136.2	33.4	7.8	many	-	3-4	T	? 10-6日朝尾鷲から兵庫に津波	正平15-10-5
1361 8 1 6	-	-	-	-	-	2		畿内(群発)	正平16-6-22
1361 8 3 4	135.0	33.0	8.4	many	-	5-6	T	畿内・土佐・阿波(死数万?)	正平16-6-24
1369 9 7 -	-	-	-	-	-	2		京都	正平24-7-28
1380 12 23 -	-	-	-	many	-	3-4	T	? 阿波	天授6-11-26
1391 11 20 12	135.8	35.0	-	many	many	3-4		京都(被害疑わしい)	元中8-10-16
1403 - - -	136.5	33.7	7.0	-	-	X	I	? 紀伊(M $\geq$ 7.0)	応永10
1407 2 21 -	-	-	-	-	-	3		諸国(熊野・京都)	応永14-1-5
1408 1 21 -	136.0	33.0	7.5	-	-	3-4	T	紀伊・伊勢・鎌倉	応永14-12-14
1412 12 26 -	134.8	34.8	6.0	many	-	3-4		播磨	応永19-11-16
1425 12 23 10	135.8	35.0	6.0	-	-	2		京都	応永32-11-5
1448 - - -	135.2	35.1	6.0	-	-	3-4		丹波	文安5
1449 5 13 8	135.8	35.0	6.1	many	-	3-4		山城・大和	宝徳1-4-12
1456 2 14 -	-	-	-	-	-	2-3		? 熊野	康正1-12-29
1466 5 29 19	-	-	-	-	-	1		奈良	文正1-4-6
1474 - - -	-	-	-	-	-	2-3		? 京都	文明6冬
1480 4 21 -	-	-	-	-	-	3		播磨	文明12-3-3
1494 6 19 12	135.7	34.6	6.0	-	-	3		大和	明応3-5-7
1498 7 9 10	-	-	7.3	many	many	4-5	T	九州・伊予・近畿・東海(別地震か)	明応7-6-11
1498 9 20 8	138.0	34.0	8.3	10000s	-	7	I	東海道・紀伊ほか[明応地震]	明応7-8-25
1510 9 21 4	135.6	34.6	6.8	many	-	3-4		摂津・河内(尾張・遠江・駿河別地震?)	永正7-8-8
1512 10 - -	-	-	-	3700	-	6	I	? 阿波(穴喰浦)(地震の記事なし)	永正9-8
1520 4 4 17	136.0	33.0	7.4	-	-	3	I	京都・紀伊(暴風雨に高潮?)	永正17-3-7
1532 7 12 -	-	-	-	-	-	2		? 京都	天文1-5-29
1533 - - -	-	-	-	-	-	3	I	? 伊予(西条)	天文2
1543 9 - -	-	-	-	some	-	3		安芸	天文12-8
1547 3 5 -	-	-	-	-	-	3		京都	天文16-2-4
1552 - - -	-	-	-	-	-	2		? 紀伊	天文21-11
1554 9 1 20	-	-	-	-	-	2		京都	天文23-7-24
1555 10 21 -	-	-	-	-	-	1		近江	弘治1-9-26
1556 3 16 -	-	-	-	-	-	3		京都	弘治2-1-25
1561 8 3 -	-	-	-	-	-	2		熊野	永禄4-6-12
1579 2 25 10	135.5	34.7	6.0	-	-	2		? 摂津(實在しない?)	天正7-1-20
1586 - - -	-	-	-	-	-	3		? 大和郡山	天正14
1586 1 18 1	136.9	36.0	7.8	1000s	many	5	T	畿内・東海・東山・北陸諸道	天正13-11-29
1592 9 25 -	-	-	-	-	-	X	I	? 豊後	文禄1-8-20
1595 8 - -	-	-	-	-	-	3		? 伊予	文禄4-7
1596 9 1 19	131.6	33.3	7.0	800	-	5	I	豊後(瓜生島水没)(別)慶長1-U7-12	慶長1-U7-9
1596 9 5 1	135.6	34.6	7.5	1000s	-	5-6		畿内(伏見・堺など)	慶長1-U7-13
1597 9 10 -	-	-	-	40	-	4		? 豊後(久米島流没?)大雨か	慶長2-7-29
1605 2 3 20	138.5	33.5	7.9	1000s	-	5-6	T	東海・南海・西海諸道[慶長地震]	慶長9-12-16
1614 11 26 13	-	-	-	some	many	3-4	T	京都(東海・南海・越後・北陸?)	慶長19-10-25
1618 9 30 1	-	-	-	-	-	2-3		? 京都	元和4-8-2
1619 5 1 12	130.6	32.5	6.2	many	-	3-4	T	肥後(八代)	元和5-3-17
1625 1 21 -	-	-	-	-	-	2-3		安芸(広島)	寛永1-12-13
1625 7 21 -	130.6	32.8	5.5	50	-	4		熊本	寛永2-6-17

表 I - 1 - 1 - 1 つづき

年 月 日 時	東 経	北 緯	M	死	傷	D	T	被 災 地 域 [地震名]	日本暦
1649 - - -	-	-	-	-	-	2-3		熊野	慶安2
1649 3 17 12	132.5	33.7	7.0	some	-	3		安芸・伊予	慶安2-2-5
1657 1 3 -	-	-	-	-	-	2		長崎	明暦2-11-19
1661 12 10 3	-	-	-	-	-	2		高知	寛文1-10-19
1662 - - -	-	-	-	-	-	2		安芸	寛文2-3
1662 - - -	-	-	-	-	-	3		? 紀伊(勝浦)3-6~20(群発か)	寛文2-3-6
1662 6 16 12	135.9	35.2	7.4	800	many	5		山城・大和・近江・若狭(琵琶湖西岸)	寛文2-5-1
1662 10 30 24	132.0	31.7	7.6	many	many	4	T	日向・大隅 死200?	寛文2-9-19
1664 1 4 20	-	-	5.9	-	-	2		京都・山城	寛文3-12-6
1664 8 3 4	-	-	-	-	-	3		紀伊・熊野	寛文4-6-12
1664 - - -	-	-	-	some	-	3-4	T	琉球・島(噴火・暴風)	尚質王17(寛文4)
1665 6 25 18	-	-	6.0	-	-	2		京都	寛文5-5-12
1667 - - -	-	-	-	-	-	2	T	宮古島	尚質王20(寛文7)
1668 8 30 20	-	-	-	10	-	3		? 但馬	寛文8-8-1
1676 7 12 12	131.8	34.5	6.5	7	35	3		石見(津和野)	延宝4-6-2
1684 12 22 -	-	-	-	-	-	3		日向	貞享1-11-16
1685 1 5 -	-	-	-	some	some	3		? 安芸・伊予(貞享2-12-10か)	貞享1-12-1
1685 10 7 12	-	-	-	-	-	2		? 周防・長門(貞享2-12-10か)	貞享2-9-10
1685 12 29 -	-	-	5.9	-	-	2		松山	貞享2-12-4
1686 1 4 11	132.6	34.0	7.2	some	some	3-4		安芸・伊予	貞享2-12-10
1694 7 17 -	-	-	-	3000	-	6		? 伊予(別子銅山-火災)	元禄7-U5-25
1694 12 12 15	-	-	-	-	-	2		丹後(宮津)	元禄7-10-26
1696 6 1 -	-	-	-	-	-	2		宮古島	尚貞王28(元禄9)-5-2
1698 10 24 15	131.5	33.1	6.0	-	-	3		豊後・(日向)	元禄11-9-21
1698 10 31 15	-	-	-	-	-	2		? 日向(上記と同じか)	元禄11-9-28
1700 4 15 -	129.6	33.9	7.0	-	-	3		吉岐・対馬(群発)	元禄13-2-26
1703 6 22 -	-	-	-	-	-	2		肥前(小城)	元禄16-5-9
1703 12 31 2	131.4	33.2	6.5	some	some	3		豊後(油布院・庄内)	元禄16-11-23
1704 5 5 -	-	-	-	few	60	3		? 阿蘇(次と同じか)	宝永1-4-2
1705 5 24 2	131.2	33.0	-	36	-	4		阿蘇	宝永2-U4-2
1706 - - -	-	-	-	some	-	3		宮古島	尚貞王38(宝永3)
1706 6 5 -	-	-	-	many	-	4		? 肥後	宝永3-4-25
1707 7 7 -	-	-	-	-	-	2	T	? 伊勢	宝永4-6-8
1707 10 28 13	135.9	33.2	8.6	20000	many	7	T	五畿七道[宝永地震]	宝永4-10-4
1707 11 21 -	131.7	34.2	5.5	3	15	3		? 周防・長門	宝永4-10-28
1708 2 13 12	-	-	-	-	-	2	T	紀伊・伊勢	宝永5-1-22
1708 - - -	-	-	-	-	-	2	T	伊勢	宝永5-10
1710 10 3 14	133.7	35.5	6.5	many	-	4		因幡・美作・伯耆	宝永7-U8-11
1711 3 19 23	133.8	35.2	6.3	4	-	3		因幡・美作・伯耆	正徳1-2-1
1711 12 20 11	134.0	34.3	6.7	1000	-	5	T	? 讃岐	正徳1-11-11
1718 4 - -	-	-	-	-	-	2		? 阿波	享保3-4
1722 9 24 -	-	-	-	some	-	3	T	尾張~紀伊(地震の記事なし)	享保7-8-14
1723 12 19 8	130.6	32.9	6.5	2	35	3		肥後・豊後・筑後(柳川)	享保8-11-22
1725 10 30 -	-	-	-	-	-	2		長崎(群発)	享保10-9-25
1725 11 8 -	129.8	32.7	6.0	-	-	2		長崎・平戸(群発)	享保10-10-4
1730 3 12 3	-	-	-	-	-	1		対馬	享保15-1-24
1731 11 13 10	-	-	-	-	-	2		近江八幡	享保16-10-14
1733 9 18 14	-	-	6.6	-	-	2		安芸	享保18-8-11

表 I - 1 - 1 - 1 つづき

年 月 日 時	東 経	北 緯	M	死	傷	D	I	被 災 地 域 [地震名]	日本暦
1734 - - -	-	-	-	-	-	2		? 備中	享保19
1740 7 20 7	-	-	-	-	-	2		奈良	元文5-6-27
1746 - - -	-	-	-	-	-	3		? 土佐(佐喜浜)	延享3
1748 6 18 -	-	-	-	-	-	2		松江	寛延1-5-23
1749 5 25 11	132.6	33.2	6.8	-	-	3		宇和島・大分	寛延2-4-10
1751 2 26 16	-	-	-	-	-	2		京都(次と同じか)	宝暦1-2-1
1751 3 26 14	135.8	35.0	5.8	-	-	2		京都	宝暦1-2-29
1753 2 11 2	-	-	-	-	-	1		京都	宝暦3-1-9
1760 5 15 2	-	-	-	-	-	2		琉球	尚穆王9(宝暦10)-4-1
1762 10 18 14	-	-	-	-	-	2		土佐	宝暦12-9-2
1764 10 29 24	-	-	-	-	-	2		伊勢	明和1-10-5
1768 7 22 12	127.5	26.2	-	-	-	2	T	琉球	尚穆王17(明和5)-6-9
1769 8 29 15	132.1	33.0	7.8	some	some	4	T	日向・豊後・肥後	明和6-7-28
1770 11 23 14	-	-	-	-	-	2		紀伊・吉野	明和7-10-7
1771 4 24 8	124.3	24.0	7.4	12000	many	6	T	[八重山津波](別)死9313	尚穆王20(明和8)-3-10
1774 1 22 23	-	-	-	-	-	1		丹後	安永2-12-11
1778 2 14 6	132.0	34.6	6.5	-	-	3		石見	安永7-1-18
1778 11 25 -	136.0	34.0	6.0	-	-	2		? 紀伊(明和7-10-7と同じか)	安永7-10-7
1789 5 11 -	134.3	33.7	7.0	-	-	2-3		阿波	寛政1-4-17
1791 5 13 -	-	-	-	-	-	2	T	沖縄(地震の記事なし)	尚穆王40(寛政3)-4-11
1791 11 6 -	-	-	-	-	-	2		島原半島	寛政3-10-10
1791 12 5 -	-	-	-	2	-	3		島原半島	寛政3-11-10
1792 4 21 -	-	-	-	2	-	3		島原半島	寛政4-3-1
1792 5 21 18	130.3	32.8	6.4	15000	many	6	T	島原半島[島原大変・肥後迷惑]	寛政4-4-1
1793 1 13 22	131.5	34.1	6.4	some	-	3		長門・筑前・対馬	寛政4-12-2
1796 1 3 14	134.3	35.7	5.5	-	-	2		鳥取	寛政7-11-24
1801 11 28 4	-	-	-	-	-	2		? 近江・名古屋(享和2-10-23か)	享和1-10-23
1802 11 15 -	-	-	-	-	-	1		? 近江(享和2-10-23か)	享和2-10-20
1802 11 18 4	136.5	35.2	6.8	-	-	2		畿内・名古屋	享和2-10-23
1804 7 20 8	-	-	-	-	-	2		生野	文化1-6-14
1812 4 21 20	133.5	33.5	6.0	-	-	2		高知・(松山)	文化9-3-10
1814 11 22 17	-	-	6.0	-	-	1		高知	文化11-10-11
1819 8 2 14	136.3	35.2	7.3	many	many	4		伊勢・美濃・近江(死100以上)	文政2-6-12
1823 1 14 2	-	-	-	-	-	3		石見	文政5-12-3
1828 5 26 10	129.9	32.6	6.0	-	-	2	T	長崎・天草	文政11-4-13
1829 6 25 -	-	-	-	-	-	2		? 安芸(左伯郡)	文政12-5-24
1830 5 - -	-	-	-	-	-	2		? 丹後	天保1-4
1830 8 19 16	135.6	35.1	6.5	280	1300	5		[京都地震](別)死146-380-438-800	天保1-7-2
1831 11 14 2	130.3	33.2	6.1	-	-	3		佐賀	天保2-10-11
1835 3 12 10	132.6	35.1	5.5	-	-	2		石見	天保6-2-14
1841 11 3 16	132.4	33.2	6.0	-	-	2		宇和島	天保12-9-20
1841 11 10 -	-	-	-	-	-	3		? 豊後(鶴崎)上記と同じか	天保12-9-27
1842 4 17 -	-	-	-	-	-	1		宮古島(群発)	尚育王8(天保13)-3-7
1844 8 8 16	131.3	33.0	-	-	-	2		肥後北部	弘化1-6-25
1848 1 10 -	130.4	33.2	5.9	-	-	3		筑後(柳川)	弘化4-12-5
1848 1 25 10	130.7	32.8	-	-	-	2		熊本	弘化4-12-20
1852 12 30 -	-	-	-	-	-	3		石見(鳥井村)	嘉永5-11-20
1854 2 4 -	-	-	-	-	-	X		? 広島	安政1-2-4-5

表 I - 1 - 1 - 1 つづき

年 月 日 時	東経	北緯	M	死	傷	D	I	被災地域 [地震名]	日本暦
1854 7 9 2	136.0	34.7	7.3	1600	many	5		伊賀・伊勢・大和 [伊賀上野地震]	安政1-6-15
1854 10 11 -	-	-	-	70	-	4		? 伊勢	安政1-8-20
1854 12 23 9	137.8	34.0	8.4	2000	-	6	T	東海・南海道 [安政東海地震]	安政1-11-4
1854 12 24 16	135.0	33.0	8.4	1000s	-	5-6	T	畿内・南海道 [安政南海地震]	安政1-11-5
1854 12 26 10	132.0	33.3	7.4	-	-	3-4		伊予西部・豊後	安政1-11-7
1855 2 16 8	133.5	33.4	-	-	some	3		土佐 (宇佐) (余震)	安政1-12-30
1855 3 1 -	-	-	-	-	-	2		? 安芸	安政2-1-13
1855 4 - -	-	-	-	-	-	2		尾鷲	安政2-3
1855 6 8 -	-	-	-	-	-	2		土佐	安政2-4-24
1855 8 6 -	-	-	-	-	-	2		豊後 (杵築)	安政2-6-24
1855 8 16 -	-	-	-	-	-	1		米子	安政2-7-4
1855 11 16 -	-	-	-	-	-	3		? 伊予	安政2-10-7
1855 12 10 -	-	-	-	-	-	3		豊後 (立石)	安政2-11-2
1856 12 9 -	-	-	-	-	-	3		石見 (益田)	安政3-11-12
1857 7 8 11	131.4	34.4	6.0	1	-	2		萩	安政4-05-17
1857 10 12 8	132.5	34.0	7.3	some	some	3		伊予・安芸	安政4-8-25
1858 2 3 10	-	-	-	-	-	2		? 熊本	安政4-12-20
1858 4 9 16	-	-	-	-	-	2		宮津	安政5-2-26
1858 8 24 10	-	-	-	-	-	2		紀伊 (田辺) 2回	安政5-7-16
1859 1 5 18	131.9	34.8	6.2	-	-	3		石見	安政5-12-2
1859 10 4 10	132.0	34.5	6.3	-	-	2-3		石見 (周布)	安政6-9-9
1864 3 6 1	134.8	35.0	6.3	-	-	2-3		播磨・丹波	元治1-1-28
1868 - - -	-	-	-	-	-	2		宮古島	(慶応4-明治1)
1869 3 18 -	-	-	-	-	-	2		? 安芸 (明治5-2-6の誤りか)	明治2-2-6
1872 3 14 17	132.1	35.1	7.1	552	581	5	T	島根県西部 [浜田地震]	明治5-2-6
1882 6 24 11	-	-	-	-	-	2		高知市付近	明治15-6-24

表 I - 1 - 1 - 2 西日本の被害地震 (第2部, 1885年~1993年)

年 月 日 時 分	東経	北緯	深さ M	死	傷	DT	震源地 [地震名]
1889 7 28 23 40	130.7	32.8	vs 6.3	20	74	4	熊本県西部 [熊本地震]
1889 10 1 1 50	130.0	28.0	s 6.0	0	0	1	奄美大島沖
1891 10 16 7 6	131.8	33.2	vs 6.3	0	0	2	大分県東部
1893 9 7 2 40	130.5	31.4	vs 5.3	0	0	2	鹿児島県南部 (知覧)
1894 1 4 22 9	130.5	31.4	vs 6.3	0	0	2	鹿児島県南部 (知覧)
1894 8 8 23 19	131.0	32.8	vs 6.3	0	0	2	熊本県東部 (阿蘇郡)
1895 8 27 22 42	131.0	32.8	vs 6.3	0	0	2	熊本県東部 (阿蘇郡)
1898 4 3 15 48	131.2	34.6	vs 6.2	0	0	2	山口県北方沖
1898 8 10 21 57	130.2	33.6	vs 6.0	0	3	2	福岡県西部 [福岡地震] 1回目
1898 8 12 8 36	130.2	33.6	vs 5.8	0	0	1	福岡県西部 [福岡地震] 2回目
1898 9 1 18 0	124.7	24.5	s 7.0	0	0	2	石垣島東方沖 6.9S
1898 12 4 1 45	131.1	32.7	150 6.7	0	0	1	熊本県東部 (やや深発地震)
1899 3 24 13 5	131.1	31.8	100 6.4	0	0	1	宮崎県南部 (やや深発地震)
1899 3 7 9 55	136.1	34.1	s 7.0	7	62	3	三重県南部 [紀和地震] (別) 傷 $\geq$ 85 7.0S
1899 11 25 3 43	132.0	31.9	s 7.1	0	0	2t	宮崎県沖 7.0T 7.2S
1899 11 25 3 55	132.3	32.7	s 6.9	0	0	3	宮崎県沖
1901 6 24 16 2	130.0	28.0	s 7.5	0	0	1t	奄美大島沖 7.6T 7.3S
1902 12 11 5 6	130.0	31.0	vs 5.3	0	0	1	鹿児島県南方沖

表 I-1-1-2 つづき

年 月 日 時 分	東 経	北 緯	深 さ M	死	傷	DT	震 源 地 [地震名]	
1903 3 21 19 36	132.2	33.8	s 6.2	0	0	1	伊予灘	
1903 7 6 13 55	136.5	35.0	vs 5.7	0	0	1	三重県北部	
1903 10 11 1 41	132.0	31.8	s 6.2	0	0	1	宮崎県沖	
1904 6 6 11 51	133.2	35.3	vs 5.8	0	0	1	島根県東部	
1905 6 2 14 39	132.5	34.1	s 7.2	11	177	3	安芸灘[芸予地震]	7.0B
1905 6 2 19 55	132.5	34.0	s 6.0	0	0	1	安芸灘	
1906 3 13 22 27	132.2	32.5	s 6.4	0	0	1	宮崎県沖	
1906 5 5 8 9	135.3	33.9	s 6.2	0	0	1	和歌山県中部	
1907 3 10 22 3	130.7	32.9	vs 5.4	0	0	1	熊本県北部	
1908 4 16 12 27	130.6	31.7	vs 4.0	0	0	1	鹿児島県中部	
1909 8 29 19 27	128.0	26.0	s 6.2	1	10	2	沖縄島付近	
1909 8 14 15 31	136.3	35.4	vs 6.8	41	784	4	滋賀県東部[姉川地震]	7.0S 6.9B
1909 11 10 15 13	131.1	32.3	150 7.6	2	sev	3	宮崎県西部(やや深発地震)	7.5B
1910 4 12 9 22	123.0	25.0	200 7.6	0	0	1	台湾北東沖(やや深発地震)	7.6B
1911 2 18 5 14	131.5	31.9	vs 5.6	0	0	1	宮崎県東部	
1911 2 18 23 45	136.3	35.4	vs 5.5	0	0	1	滋賀県東部	
1911 6 15 23 26	130.0	28.0	100 8.0	12	26	3T	奄美大島沖[喜界島地震]やや深発	8.1B
1911 8 22 7 48	131.0	32.9	vs 5.7	0	0	1	熊本県東部	
1913 4 13 15 40	132.0	32.0	s 6.8	0	0	1	宮崎県沖	
1913 6 29 17 23	130.3	31.6	vs 5.7	0	0	1	鹿児島県西部(串木野)	
1913 6 30 16 45	130.3	31.6	vs 5.9	0	0	2	鹿児島県西部	
1914 1 12 18 28	130.6	31.6	vs 7.1	35	112	4T	鹿児島県中部[桜島地震](噴火中)	6.7S
1914 5 23 12 38	133.2	35.3	vs 5.8	0	0	1	島根県東部	
1915 1 6 8 26	123.3	25.1	150 7.4	0	0	1	石垣島北方沖(やや深発地震)	7.3B
1915 7 14 21 13	130.8	31.9	vs 5.0	0	0	1	鹿児島県北東部(吉松)	
1916 3 6 18 12	131.6	33.5	vs 6.1	0	0	1	大分県東部	
1916 8 6 7 52	133.4	34.0	vs 5.7	0	1	1	愛媛県沿岸	
1916 11 26 14 8	135.0	34.6	vs 6.1	1	5	3	兵庫県南岸	
1916 12 29 6 41	130.5	32.3	vs 6.1	0	0	1	熊本県南部	
1919 11 1 8 34	132.9	34.8	vs 5.8	0	0	1	広島県北部(三次)	
1920 6 5 13 21	121.7	24.0	s 7.8	0	0	1	台湾東方沖	8.0S
1921 4 19 2 58	132.1	32.6	s 5.5	0	2	1	宮崎県沖	
1922 12 8 1 50	130.1	32.7	vs 6.9	26	39	4	[島原地震-千々石湾地震] 1回目	
1922 12 8 11 2	130.1	32.7	vs 6.5	few	few	3	[島原地震-千々石湾地震] 2回目	
1923 7 13 20 13	131.2	30.6	s 7.1	0	0	2	種子島付近	7.1S
1924 8 13 3 18	135.2	33.9	s 5.9	0	0	1	和歌山県中部	
1925 5 23 11 9	134.8	35.6	vs 6.8	428	834	5	兵庫県北部[(北)但馬地震]	
1925 7 4 4 20	133.3	35.5	vs 5.8	0	0	1	鳥取県西部	
1925 8 10 9 37	130.9	33.3	vs 4.4	0	0	1	大分県西部	
1926 6 29 23 26	127.0	27.0	130 7.5	0	0	1	沖縄島北西沖(やや深発地震)	7.4B
1927 3 7 18 27	134.91	35.62	17 7.2	2925	7806	6t	京都府北部[(北)丹後地震]	7.2W 7.6S
1927 12 2 15 55	135.22	34.08	0 4.9	0	0	1	和歌山県西部	
1928 11 5 13 41	130.97	33.17	0 4.7	0	0	1	大分県西部	
1929 1 2 1 40	130.80	33.18	0 5.5	0	0	2	福岡県南部	
1929 5 22 1 35	132.08	31.67	20 6.9	0	0	1t	宮崎県沖	
1929 8 8 22 33	130.32	33.62	0 5.1	0	0	1	福岡県西部	
1929 11 20 14 54	135.15	34.10	0 5.8	0	0	1	和歌山県北西部	
1930 2 5 22 28	130.15	33.50	30 5.0	0	0	1	福岡県西部	

表I-1-1-2 つづき

年 月 日 時 分	東経	北緯	深さ M	死	傷	DT	震源地 [地震名]
1930 2 11 9 11	135.10	34.20	10 5.3	0	1	2	和歌山県北西部
1930 12 20 23 2	132.8	34.9	0 6.1	0	0	2	広島県北部(三次)
1931 11 2 19 3	132.63	32.25	40 7.1	1	29	3T	宮崎県沖[日向灘地震] 7.3T 7.6S
1931 12 21 14 47	130.50	32.52	10 5.5	0	0	1	八代海北部
1931 12 22 22 8	130.57	32.57	0 5.6	0	0	1	八代海北部
1931 12 26 10 42	130.55	32.55	10 5.9	0	0	1	八代海北部
1933 4 8 20 54	130.77	32.72	30 4.3	0	0	1	熊本県中部
1935 7 3 9 16	131.35	32.10	0 4.6	0	0	1	宮崎県中部
1936 2 21 10 7	135.72	34.49	18 6.4	9	59	3	奈良県北西部[河内大和地震]
1937 1 27 16 4	130.82	32.73	30 5.1	0	0	1	熊本県中部
1938 1 2 16 53	133.35	34.97	10 5.5	0	0	1	岡山県北西部(神代)
1938 1 12 0 11	135.07	33.58	0 6.8	0	0	2	和歌山県沖
1938 6 10 18 53	125.0	25.5	s 7.7	0	0	1T	宮古島北方沖 (M _J =6.7) 7.7S
1939 3 20 12 22	131.97	32.28	20 6.5	1	1	2T	宮崎県沖 6.7T 6.5S
1941 4 6 1 49	131.66	34.56	11 6.1	0	0	1	山口県北岸
1941 11 19 1 46	132.08	32.02	0 7.2	2	18	3T	宮崎県沖[日向灘地震] 7.6T 7.8S
1943 3 4 19 13	134.14	35.44	1 6.2	0	11	3	鳥取県東部
1943 3 4 19 35	134.15	35.46	0 5.7	0	↑		鳥取県東部
1943 3 5 4 50	134.22	35.45	1 6.2	0	↑		鳥取県東部
1943 9 10 17 36	134.09	35.47	0 7.2	1083	3259	5	鳥取県東部[鳥取地震] (別)傷6153 7.4S
1944 12 7 13 35	136.18	33.57	40 7.9	1223	2864	5T	熊野灘[東南海地震] 8.1WT 8.0S
1946 12 21 4 19	135.62	33.03	20 8.0	1330	2632	5T	紀伊半島沖[南海道地震] 8.1WT 8.2S
1947 5 9 23 5	130.97	33.40	0 5.5	0	0	1	大分県西部(日田)
1947 9 27 1 1	123.2	24.7	95 7.4	5	-	3	台湾東方沖(西表島と石垣島で死者)7.4B
1948 5 9 11 9	131.93	31.50	0 6.5	0	0	1	宮崎県沖
1948 6 15 20 44	135.40	33.75	10 6.7	2	33	3	和歌山県南東部
1949 1 20 22 24	134.53	35.62	0 6.3	0	0	1	兵庫県北部
1949 7 12 1 10	132.68	34.07	40 6.2	2	2	3	安芸灘
1950 4 26 16 5	135.67	33.92	40 6.5	0	0	1	奈良県南部
1950 8 22 11 4	132.68	35.13	10 5.2	0	0	1	島根県中部
1950 11 6 2 37	134.83	33.45	30 6.7	0	0	1	和歌山県南西沖
1952 7 18 1 9	135.78	34.45	60 6.8	9	136	3	奈良県西部[吉野地震]
1955 6 23 22 41	133.38	35.30	10 5.5	0	0	1	鳥取県西部
1955 7 27 10 20	134.32	33.73	10 6.4	1	8	2	徳島県南部
1958 3 11 9 26	124.29	24.62	77 7.2	2	4	3	石垣島付近 (別)死数人傷多数 7.2B
1959 2 28 5 56	128.49	27.67	91 5.9	0	0	1	奄美大島南西沖
1961 2 27 3 10	131.85	31.60	40 7.0	2	7	3T	宮崎県沖[日向灘地震] 7.5T 7.6S
1961 3 16 7 16	130.70	32.00	0 5.5	0	0	1	鹿児島県北部
1961 5 7 21 14	134.42	35.10	vs 5.9	0	0	1	兵庫県西部
1962 1 4 13 35	135.22	33.63	40 6.4	0	0	1	和歌山県南西沖
1966 3 13 1 31	122.67	24.24	42 7.8	2	11	3t	台湾東方沖(与那国島で死者) 7.8S 7.6B
1966 11 12 21 1	130.27	33.07	20 5.5	0	0	1	有明海
1968 2 21 8 51	130.72	32.02	0 5.7	0	0	1	鹿児島県北部
1968 2 21 10 44	130.72	32.02	0 6.1	3	42	3	鹿児島県北部[えびの地震]
1968 2 22 19 19	130.77	32.00	0 5.6	0	0	1	鹿児島県北部
1968 3 25 0 58	130.72	32.02	0 5.7	0	3	3	鹿児島県北部
1968 3 25 1 21	130.73	31.98	10 5.4	0	0	↑	鹿児島県北部
1968 4 1 9 42	132.53	32.28	30 7.5	1	15	3T	[日向灘地震] (別)傷53 7.4W 7.7T 7.6S

表 I - 1 - 1 - 2 つづき

年 月 日 時 分	東 経	北 緯	深 さ M	死	傷	DT	震 源 地 [地震名]
1968 8 6 1 17	132.38	33.30	40 6.6	0	22	2	愛媛県西岸 (別)傷47
1968 8 18 16 12	135.38	35.22	0 5.6	0	0	2	京都府中部
1968 11 12 9 44	128.48	27.50	69 5.6	0	0	1	沖縄島北東沖
1969 4 21 16 19	132.12	32.15	10 6.5	0	2	1t	宮崎県沖 6.7T 6.8S
1970 1 1 4 1	129.15	28.55	62 6.1	0	9	2	奄美大島付近 (別)傷5
1970 3 13 22 27	132.82	34.93	10 4.6	0	0	1	広島県北部
1970 7 26 7 41	132.03	32.07	10 6.7	0	13	2t	宮崎県沖 7.0W 7.1T 6.8S
1970 9 29 19 11	133.30	34.43	10 4.9	0	0	1	広島県南東部
1972 1 25 11 6	122.37	22.56	29 7.4	0	0	1t	台湾東方沖 7.4S 7.1B
1972 7 7 13 0	129.30	29.20	vs 3.5	0	0	1	小宝島付近
1972 9 6 20 42	130.43	32.75	10 5.2	0	0	2	有明海
1973 11 25 13 24	135.42	33.85	60 5.9	0	2	2	和歌山県西部
1975 1 22 13 40	131.13	33.03	0 5.5	0	0	1	熊本県北東部
1975 1 23 23 19	131.13	33.00	0 6.1	0	10	3	熊本県北東部(阿蘇)
1975 4 21 2 35	131.33	33.13	0 6.4	0	22	3	大分県中部[大分県中部地震]
1977 5 2 1 23	132.70	35.15	10 5.3	0	0	2	島根県中部
1978 6 4 5 3	132.70	35.08	0 6.1	0	0	2	島根県中部 5.6W
1979 7 13 17 10	132.05	33.85	70 6.1	0	1	1	伊予灘 6.1W
1983 8 26 5 23	131.61	33.55	116 6.8	0	0	1	大分県北部(やや深発地震) 6.5W
1983 10 31 1 51	133.93	35.41	15 6.2	0	10	1	鳥取県沿岸 5.6W
1984 5 30 9 39	134.59	34.96	17 5.6	0	0	1	兵庫県南西部
1984 8 6 17 30	130.18	32.76	7 5.7	0	0	1	島原半島
1984 8 7 4 6	132.16	32.38	33 7.1	0	9	1t	宮崎県沖 6.9WT 7.0S
1986 4 28 16 5	130.78	31.83	0 4.4	0	0	1	鹿児島県中部
1987 3 18 12 36	132.06	31.97	48 6.6	1	6	2t	宮崎県沖 6.7W
1987 5 9 12 54	135.41	34.14	8 5.6	0	0	2	和歌山県北東部
1987 11 18 0 57	131.47	34.22	4 5.4	0	2	1	山口県北部
1989 10 27 7 41	133.38	35.26	13 5.3	0	0	1	鳥取県西部
1989 11 2 4 57	133.37	35.25	15 5.4	0	0	1	鳥取県西部
1990 1 11 20 10	135.98	35.11	11 4.9	0	0	1	滋賀県南部
1991 8 28 10 29	133.19	35.32	13 5.9	0	0	1	島根県東部 5.5W
1991 10 28 10 09	131.17	33.92	19 5.9	0	0	1	周防灘 5.2W
1992 10 14 13 15	123.76	24.42	4 4.6	0	0	1	西表島付近
1992 10 15 18 58	123.77	24.42	6 4.3	0	0	1	西表島付近
1992 10 18 4 28	123.79	24.39	1 3.8	0	0	1	西表島付近
1992 10 20 16 18	123.74	24.46	8 5.0	0	0	1	西表島付近
1992 10 20 16 42	123.74	24.45	5 4.0	0	0	1	西表島付近

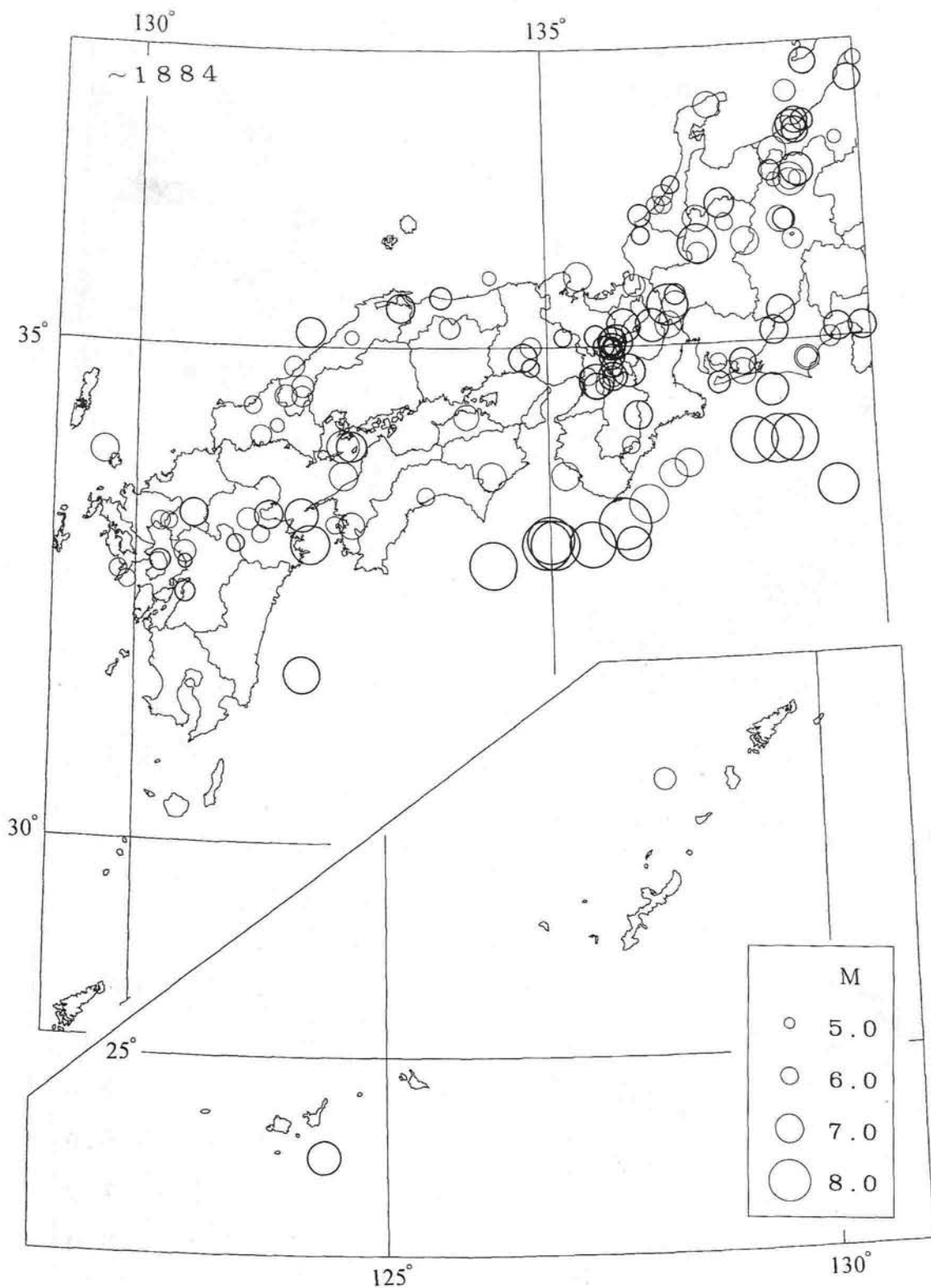


図 I-1-1-1 西日本の被害地震の分布図（第1部，1884年まで）。表 I-1-1-1 に掲げた被害地震および隣接地域の被害地震の震央位置。太線の丸は被害等級4以上（3-4，3-5を含む），その大きさはマグニチュードに応じて連続的に大きくなっている。緯度経度の数値が同じで，マグニチュードがほぼ等しい複数の地震は，重ならないよう位置を僅かにずらしてプロットした。

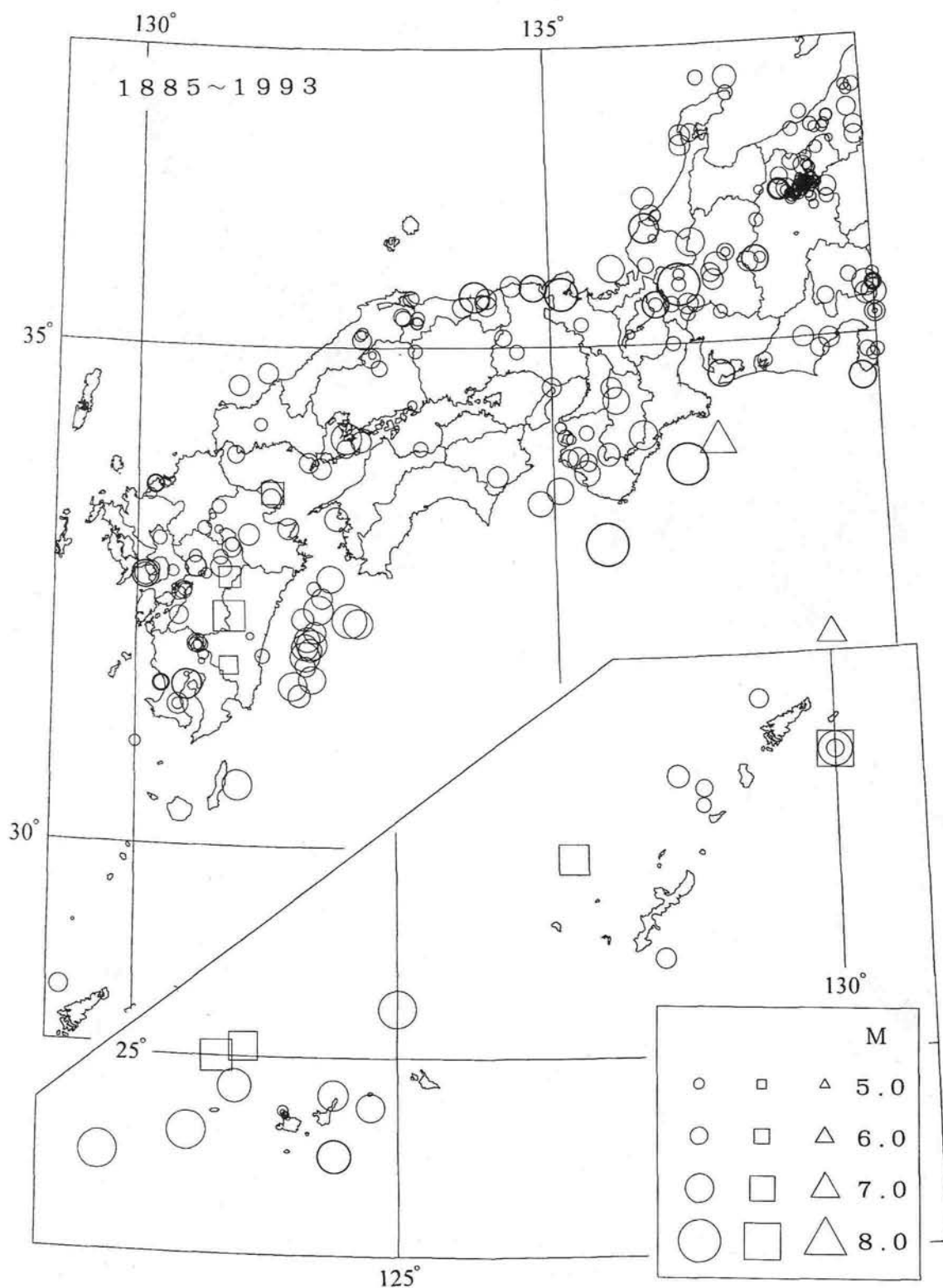


図 I-1-1-2 西日本の被害地震の分布図（第2部，1885～1993年）。表 I-1-1-2 に掲げた被害地震および隣接地域の被害地震の震央位置。太線のシンボルは被害等級4以上。○は浅い地震（深さ100km 未満），□はやや深い地震（深さ100km 以上，300km 未満），△は深い地震（深さ300km 以上）を示す。シンボルの大きさはマグニチュードに応じて連続的に大きくなっている。